

長野県立大学 WEB サイトリニューアル業務仕様書

この仕様書は、公立大学法人長野県立大学（以下「長野県立大学」という。）が行う WEB サイトリニューアル業務の委託を行うにあたり、その仕様等に関し必要な事項を定めるものです。

1 業務名

長野県立大学 WEB サイトリニューアル業務

2 目的

長野県立大学のWEBサイトは、現在の構造となってから概ね2年近く経っており、改修は行ってきたものの、目的とする情報がどこにあるのかわかりにくく、何度もクリックしないと対象ページに辿り着けない点や、スマートフォンなどの端末に完全に対応していない点など、様々な改善意見が多い。今後、情報の伝達性をさらに高めるため、WEBサイトをよりわかりやすく、発信力の高いものに改善していくことが必要である。

本業務は、受験生と保護者、企業・自治体・一般、在学生など多様なWEBユーザのニーズに応え、閲覧デバイスの多様化にも対応した高いユーザビリティを実現するため、現行のWEBサイトの構造やデザイン、ページ構成、閲覧機能をリニューアルし、同時に管理者側では、html等の知識を基本的に不要とする管理編集環境・機能を再構築、さらに現行のWebサイトに掲載されている中で本学が必要と判断する情報をすべて移行するまでを一連の業務とする。

3 委託期間

契約日から 2020 年 5 月 31 日まで（新 WEB サイト開設 6 月 1 日～予定）

4 契約書（案）

別添のとおり

5 業務内容

（1）リニューアル範囲

本業務の範囲は、2020年6月にリニューアルする長野県立大学Webサイト（日本語版、英語版）の構築・公開に必要な一連の作業とする。

- ・対象Webサイト
 - ・日本語版URL : <http://www.u-nagano.ac.jp/>
 - ・英語版URL : <http://www.u-nagano.ac.jp/en/>
- ・翻訳に関して
 - ・英語版については、本学が提供する日本語の原稿から翻訳することとし、ネイティブチェックも行うものとする。

(2) 基本条件

1) マルチデバイス・ブラウザ対応

PC、タブレット、スマートフォン等、マルチデバイス対応であること。Web ブラウザは各OS (Windows、MacOSX、Andoroid、iOS) におけるInternet explorer11、Edge、FireFox、GoogleChrome、Safari 等でレイアウトを維持できること。

2) ウェブアクセシビリティ、ユーザビリティへの配慮

ウェブアクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X8341-3:2016 適合レベル AA への準拠を目標とし、ユーザビリティに配慮したホームページ設計を、委託者との協議を重ね行うこと。

ただし、適合レベル AA への準拠として、以下に挙げる機能は必須のものとする。

- ・文字サイズの変更機能
- ・ベースカラーの変更機能
- ・読み上げソフトへの対応

3) CMS

調達するCMSは、誰でも扱いやすく、セキュリティの高いソフトを利用し、最新版のものを利用すること。また、CMSに脆弱性が発見された場合には、速やかに対応すること。なお、その取得に発生する費用は委託費に含まれるものとする。

4) セキュリティ・トラフィック対策

構築するWeb サイトにおいては情報セキュリティ対策を施すものとし、(独)情報処理推進機構セキュリティセンター (IPA) が示す「安全なWeb サイトの作り方 (改訂第7 版)」を基準とすること。

5) 障害時の対応

障害が発生した際には、障害箇所の特特定、障害範囲の調査などの状況把握を行うとともに、復旧に向けて迅速な対応を行うこと。

障害発生時に受託業者が行うべき行動や本学への連絡体制などを示した緊急時対応マニュアルを作成すること。

6) WEBサーバと構築環境

本学の既存外部WEBサーバの仕様は以下のとおり。

- OS CentOS6
- CPU Xeon
- ストレージ容量 (SSD) 1TB×2
- メモリー 16GB
- RAID 構造 RAID (Hot Swap)
- WebDAV 利用可能/標準提供

- ・上記スペック以上の外部ホスティングサーバの導入を提案すること。ただし、ストレージ容量（SSD）は500GB程度でもよい。
- ・セキュリティに配慮した接続環境を構築、施工を行うこと。（セキュリティを考慮しCGI、PHP は原則として使用しない）
- ・新サーバーの電源の冗長化は「あり」にすること。
- ・契約後、大学側の基幹ネットワークシステム構築・保守事業者からの情報提供依頼や打ち合わせに協力すること。また、基幹ネットワークシステム側でのDNS設定変更検討等を行うため、事業者決定後、CMSサーバへの通信要件に関する情報を速やかに提供すること。

(3) 制作条件

1) UI 設計・デザイン

- ・デバイスの多様化も含め、最近のWEBデザインと設計思想を反映しつつも、大学に訪れる多様なWEBユーザが、それぞれ目的とする情報に容易に辿り着けるよう、設計とデザインを工夫すること。
- ・ウェブデザインはパソコン、スマートフォン、タブレット等の端末の種類、画面サイズに最適化して表示されるレスポンシブデザインとすること。

2) CMS実装・マニュアル

- ・コンテンツの編集者は、html/CSS などの専門的な知識や技術を必要とせず、ワープロソフトの編集レベルのスキルでコンテンツの追加、編集、などが可能な入力・編集管理画面を構築すること。
- ・管理画面は必要に応じて、関連するページを複数同時に更新することができる、また、編集者、公開承認者、システム管理者などの承認フローが必要な場合は、権限設定を反映できる構築を行うこと。
- ・各種ファイル（Word、Excel、PDF、画像等）の挿入公開が掲載できるようにすること。特に表組みのコンテンツについては、テンプレートでの作成を可能にすること。
- ・ページ作成時に自動的にサイトマップに反映させる構造とすること。
- ・ページ作成時に自動的にパンくずリストを生成すること。
- ・サイト運用担当者が変更となってもコンテンツの更新・編集を可能とするマニュアルを作成すること。

※その他、CMS機能要件については別紙1「CMS機能要件一覧表」を参照のこと。

なお、別紙1「CMS機能要件一覧表」に記載された内容のうち、【必須】とされている項目については、必ず条件を満たすこと。ただし、条件どおりの実装が困難な場合は、代替案の提案を可とする。そのときは、その代替案が委託者の要求項目を十分に満たすものであること。

3) データの移行

現在の本部WEBサイトに掲載されている情報を本学担当者と協議して整理し、データの

移行を行うこと。

4) その他の制作条件

- ・印刷用ページを自動的に生成する機能を有すること。
- ・Google 等を利用した全文検索機能を有すること。
- ・ブラウザの機能に頼らず文字の大きさを可変（大・中・小）できる機能をつけること。
- ・W3C 標準に準拠して作成し、非推奨とされる要素や属性は使用しないこと。

(4) 制作体制

- ・大学WEB サイトの構築実績があるディレクターのもと設計・施工を行う体制であること。
- ・受託者は同ディレクターを中心に、受注決定後速やかに本学担当者と制作会議を行い、提案物以外の主要ページについて設計資料等を作成すること。
- ・受託者が工程管理責任を持つこと。また、工程表を作成し、校正・確認には十分な時間を確保すること。

(5) 保守・サポート

- ・運用開始後の保守料及びサーバレンタルに係る経費については別途契約とする。

(6) 教育訓練

以下の要員に対する教育を行うこと。

ア 運用管理者への教育

- ①構築するシステムの運用に際し、必要とされる教育を2回程度運用管理者に行うこと。
- ②運用管理者への教育は、新WEBサイト開設前にシステムを使用して行うこと。

イ 教職員への教育

- ①システムを利用する教職員への投稿操作手順書を作成すること。
- ②システムを利用する教職員へ、投稿システムの利用方法を端末の画面を投影し説明すること。編集方法についてもデモンストレーションを行うこと。
- ③教育は同じ内容で2回程度行うこと。

なお、訓練に必要なテスト用の Web サーバーについては、本学と受託者が協議の上、準備・設置するものとする。

(7) その他

- ・運用開始後も機能向上やサイト構成・デザインの追加・変更等を柔軟に行えるなど、将来的な拡張性を確保すること。
- ・SEO（サーチエンジン最適化）施策を提案に含めること。
- ・セキュリティ対策の具体的な内容を提案に含めること。（「https」導入など）
- ・実施内容等の細部に疑義が生じた場合は、委託者と都度協議のうえ、決定すること。
- ・受託者の責によるシステム開発の遅れや品質不適合等による損害については、受託者の負担とする。

- ・システム開発における受託者の再委託先については、所定の手続きにより報告するものとする。

6 運用テスト・調整・公開準備等

- ・本業務期間中は、本番環境と同等のテスト環境を整備し、委託者の指示により機能・デザインの調整を行うこと。
- ・上記同様、委託者が構築状況（コンテンツ、画像、動作確認等）を確認できるようにすること。
- ・ホームページの公開にあたっては、テスト公開（試用期間）を2週間以上設けること。
- ・HP 接続切替作業（DNS 設定作業）を2020年5月末に行うため、同年5月25日までに外部からアクセスされてもよい状態にしておくこと。

7 完了検査

- ・受託者は業務完了届と仕様書に定められた成果品を委託者に提出し、委託者の検査合格をもって業務完了とする。
- ・検査合格前に、受託者の責任により、委託者が補修の必要があると認めた場合には委託者と協議のうえ、受託者は速やかに補修に応じるものとする。その場合の経費は受託者が負担するものとする。

8 成果品提出

成果品、納入品および受渡媒体、部数、納入方法は以下のとおりとする。

(1) 令和元年度の提出物

1) 成果品

長野県立大学WEBサイトリニューアル委託業務に関する報告書

(内容) ・日本語版ページに関する報告

・英語版ページに関する報告

・CMS実装、導入、マニュアル作成に関する報告

(2) 令和2年度の提出物

1) 成果品、納入品の明細

ア 再構築後の長野県立大学WEBサイト

イ 再構築に用いたシステム (CMS)

ウ 作業詳細技術資料

エ テスト結果報告書

オ 運用マニュアル (管理者向け、一般利用者向け)

2) 受渡媒体、部数、納入方法

ア 再構築後の長野県立大学サイト

サーバへのインストール

イ 再構築に用いたシステム (CMS)

サーバへのインストール

ウ サーバデータ（HTML、データベースなど）、作業詳細技術資料、テスト結果報告書、運用マニュアルを電子媒体にて1部

エ 運用マニュアルについては紙媒体にて1部

(3) 提出期限

令和2年3月31日（火） 平成元年度委託業務経過報告
※成果品（委託業務報告書）の提出

令和2年5月31日（日） 最終報告
※成果品及び委託業務完了報告書の提出

9 機密保持

- ・受託者は、本業務に関連して知り得た委託者の機密については、これを第三者に漏洩してはならない。
- ・受託者は、委託者の書面による承諾なく、本業務の内容を公表してはならない。

10 契約不適合

- ・成果品の引き渡し後に、当該成果品について仕様に適合しない欠陥等が発見され、発見から1年以内に通告した場合には、委託者又は委託者の指定する者の指示に従い受託者の責任において、必要な修正及び補正を無償で行うものとする。また同期間において、委託者より操作説明等を求められた場合は、それに応じるものとする。
- ・ホームページに障害が発生した際には、速やかに対策を講じること。

11 その他留意事項

(1) 著作権の取り扱い

ア 本委託業務の実施による文章、画像、イラスト、その他一切の著作権については、委託者が保有するものとし、受託者が複写、複製その他の方法により他の利用に供する場合は、あらかじめ委託者の承諾を得なければならない。

イ 受託者は、成果品にかかる著作者人格権を有する場合においても、これを行使しないものとする。

(2) 個人情報の取り扱い

当事業において収集及び取り扱う個人情報は、「長野県個人情報保護条例」を準用するとともに、個人情報に関する法令を遵守し、適正に取り扱うものとする。

(3) 費用算出方法に関する補足

ア 原稿制作

本案件に関わる原稿について、本仕様書に特に記載がない場合、原稿写真用画像はすべて現行ホームページのものを使用すること。特に、原稿・素材の制作が必要と判断した場合には、その作成費用も全体の費用算出に含めること。

イ 制作ページ算出

制作ページについては、現行ホームページより必要な制作ページを算出し費用に含めること。

ウ 使用する画像、写真等は、原則として制作時にのみ費用が発生することとし、2020年度以降の使用料は発生しないものとする。

エ 次年度以降の保守・運用にかかる経費（ホスティングサーバー利用料、SSLサーバ証明書お問い合わせ対応等）を明確にすること。

12 その他

・業務の実施にあたっては、業務の内容及び範囲について、委託者と綿密な打ち合わせを行い、その指示に従うこと。

・本仕様書に明示無き事項又は業務に疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により業務を進めるものとする。